

Stephens, G. L., 1978 : Radiation profiles in extended water clouds II : Parameterization, J. Atmos. Sci., 35, 2123-2132.

Thekaekara, M. P., 1974 : Extraterrestrial solar spectrum, 3000-5100 Å at 1 Å intervals, Appl. Opt., 13, 518-522.

Uchino, O., M. P. McCormik, T. J. Swisler, and L. R. McMaster, 1986 : Error analysis of DIAL measurement of ozone by a shuttle excimer lidar, Appl. Opt., 25, 3946-3951.

宇宙科学研究所・地球大気観測ワーキンググループ, 1991 : 地球大気観測計画, 文部省宇宙科学研究所.

U. S. Department of Energy Report DOE/ER 02037, 1985 : Projecting the climate effects of increasing carbon dioxide. Eds., M. C. Luther.

U. S. Standard of the Atmosphere, 1976 : U. S. Government Printing Office.

“ヤマセ” シンポジウムのお知らせ

シンポジウムの主旨 : 1993年に発生したヤマセは、北日本の米作に壊滅的な打撃を与えました。本シンポジウムの目的は、この歴史的なヤマセを対象とした様々な分野における研究成果を一同に集めて、ヤマセについての総合的な議論を行うことです。「'93年ヤマセ」を調べるにあたって、過去の事例との比較を行ったり、モデルによる研究を行うことは重要です。副題にある“その周辺”は、それらを意識したものです。シンポジウムでは、「'93年ヤマセ」の研究に加えて、ヤマセに関する様々な視点からの論文発表を歓迎します。従来の学会の枠に捕らわれず、ヤマセ現象の機構の解明と対策を目指す自然科学・工学、人間や社会との関連を追求する人文・社会科学分野などから、広く講演を募ります。

招待講演者として、新田 勲 (東京大学気候システムセンター教授)、大川 隆 (元旭川地方気象台長)、昆 幸男 (元盛岡地方気象台長)、渋谷長生 (弘前大学農学部助教授) の4氏を予定しています。

シンポジウム日時, 会場 : 平成6年8月21日(日)~23日(火), 岩手県久慈市 久慈グランドホテル

一般講演会 : また、合わせて一般市民を対象とした講演会「“ヤマセ”と東北」を、同じ会場で開催します。日時は、平成6年8月21日(日) 13:00-16:00です。講演者として、和田英夫(元函館海洋気象台長)、工藤敏雄(岩手大学農学部非常勤講師)、卜蔵建治(弘前大学農学部教授)、川村 宏(東北大学大気海洋センター教授)の4氏を予定しています。

参加・講演申し込みの締め切りは、6月24日です。参加を申し込まれた方には、7月はじめに、シンポジウムの詳細をご連絡いたします。講演を申し込まれた方には、7月はじめに様式をお送りしますので、それに従って1枚の講演要旨を提出していただきます。講演要旨の締め切りは、7月22日の予定です。

主催 : 久慈市 他

後援 : 日本気象学会 他

お問い合わせ先 :

〒032 久慈市川崎町1-1

久慈市企画部企画調整課

TEL : 0194-52-2111 (内線242)

FAX : 0196-52-3653

(東北大理 川村 宏)